

第 28 回日本徒手理学療法学会学術大会における感染対策について

7月23日(日)にかわごえクリニックにおいて開催される第28回日本徒手理学療法学会学術大会は、以下の感染対策に基づいて実施致します。参加は事前登録者のみであり、以下の文章を熟読の上、参加していただきます。

事前の感染対策について

1. 学術大会参加者は学術大会開始2週間前から毎日検温を実施し、**発熱などの感冒様症状***の有無についても記録していただきます。
2. 学術大会時には、健康状態や感染対策について、質問する場合がありますので、答えられるように準備しておいてください。
3. 学術大会開催2週間前から、不要不急の外出を極力控え、3密対策（密集、密閉、密接）を十分励行して下さい。**(夜間の外出、カラオケ、ライブハウスなど) 複数人での会食・集会は避けてください。**

参加者の感染対策について

*以下の該当する場合は、学術大会は欠席していただきます。

- ・当日の自宅での検温結果が37.5℃以上の発熱があった場合、あるいは平熱より+1℃高い体温であった場合、または発熱はなくても鼻汁・咽頭違和感・息苦しさや呼吸困難、倦怠感、味覚・嗅覚障害、咳・咽頭痛などの症状や体調の不調を感じた場合。

※感冒症状や体調不良の例は以下の通りです。

鼻炎症状（鼻汁・鼻閉感）・咽頭症状（咽頭違和感・咽頭痛・嚔声）・消化器症状（嘔気・嘔吐・下痢・腹痛）・全身症状（発熱・倦怠感・頭痛）・味覚障害・嗅覚障害など

- ・同居家族に感染者が出た場合
- ・感染者及び濃厚接触者との濃厚接触があり、行政機関から自宅待機指示を受けた場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限や入国後の観察期間を要するとされる国・地域などへの渡航歴がある場合。もしくはその該当者との濃厚接触を認める場合。

ワークショップを含む学術大会全体の感染対策上の留意点は次の通りです。

- 感染対策の状況につきまして、当日ご回答頂く場合がありますので、予め準備をしておいてください。

- テキストや抄録集などは、予め登録されたメールにPDFにて配信させていただきます

す。

●毎日の受付時には、検温とマスクの持参チェックを実施します。マスクは各自で持参していただきますが、できる限り、自身の体温計をご持参下さい。

●マスクの着用に同意いただけない参加者で、**発熱や体調が優れない場合***などは、参加をお断りすることがあります。

●学術大会中は、各自で持参したマスクの着用を必須とし、フェイスシールドやゴーグルを持参して装着しても構いません。

●毎回の休憩時間では、会場の換気を行い、手洗いを行っていただきます。

●会場の共有部分における他の利用者との接触はできるだけ避けてください。

可能な限り手指消毒用の携帯用アルコールを持参し、実技の間で使用をお願いします。

●昼食時には、**黙食を遵守し**、密な関係にならないようなソーシャルディスタンスを確保するように努めて下さい。

●午前と午後で発生したゴミは別々にまとめて、廃棄します。

午前のワークショップの内容

●東京都立大学の来間先生にて、スポーツサポートで行われる整形外科徒手検査と徒手理学療法の説明を講義いただきます。その後、実技内容はデモンストレーションしていただきます。そして、参加者がその実技を行い練習します。会場は、6階大会議室

であり、7 台の治療台を離れた場所で配置し、それぞれの治療台に参加者 3 名とし、全体参加者は 21 名とします。リモートで参加希望者がいた場合には、zoom にて配信します。ワークショップの参加者は学術大会同様、事前参加申込とします。実技内容は、整形外科徒手検査として肩関節では肩関節不安定性検査、サルカス検査、腰部骨盤帯では、腰椎圧迫検査、圧縮検査、離開検査、FABER 検査などを行います。また、徒手療法手技として、頸椎に対しては自然椎間関節滑走法や腰椎に対しては屈曲回旋手技、四肢関節に関して運動併用関節モビリゼーションなどを行います。

感染対策上の工夫

- 参加者は、**こまめな手指消毒用アルコールや手洗い**によりできるだけ**手指の清潔**を保つようお願い致します。
- ワークショップはかわごえクリニック 6 階大会議室にて開催し、参加者はすべて事前参加者に限り、現地参加者は定員を 21 名に制限し、希望者がいれば zoom 配信致します。
- テキストなどの配布物は、予め事前登録されたメールに PDF にて配信させていただきます。
- ワークショップ中の実技練習は同一のペアで行うようにしていただきます。
- 講師は十分に離れた場所にて講義を行い、実技の時にデモンストレーションと実技確

認を致します。

●実技練習中の実技指導は、講師とアシスタントが指導を担当する参加者を分担して、ワークショップ中同一の指導者が対応します。

●大声での会話については自粛をお願いします。

●ワークショップを含めた学会大会の開始前、休憩時、ワークショップ後には、ベッド、椅子、机、マイクなどを消毒します。また、窓やドアを開けて常に換気するように致します。

●使用するベッドの配置には十分な空間を空けるように配置致します。

感染対策上のその他の留意点

●学会大会中、特にワークショップでは、各自で持参したマスクの着用を必須とし、フェイスシールドやゴーグルを持参して装着することを推奨致します。

●ワークショップで生じたゴミは、まとめて廃棄します。

午後の特別講演および一般演題の内容

●順天堂大学の宮森先生にて、スポーツサポートで行われる理学療法全般及び徒手理学療法について、ニュージーランドや日本の2020東京オリンピック・パラリンピックなどのご経験をもとに、ご講義いただきます。その後、一般演題（1セッション5演題程度）を開催します。リモートで参加希望者がいた場合には、zoomにて配信します。学会大会は、事前参加申込とします。

午後の特別講演および一般演題における感染上の工夫は、上記の事前の感染対策およびワークショップにおける感染対策に準じて対応致します。

運営側としては以下のことを実施します。

- スタッフのマスク着用義務付けし、休み時間に**手指消毒用アルコール**や**手洗い**を行うように致します。
- 講師の検温と健康状態を把握するとともに、実技では、**手指消毒用アルコール**や**手洗い**によりできるだけ清潔を保ちます。
- スタッフが学術大会開始前 2 週間の間に体調不良、**発熱など感冒様症状***がある場合、同居家族に感染者が発生した場合、感染者の濃厚接触者として自宅待機の支持を受けている場合、過去 14 日以内に政府から入国制限または入国後の観察期間を必要とされている国や地域などへの渡航履歴がある場合、もしくは該当者との濃厚接触がある場合、欠席するよう要請します。
- 講師が学術大会開始前 2 週間の間に体調不良、**発熱など感冒様症状***がある場合、同居家族に感染者が発生した場合、感染者の濃厚接触者として自宅待機の指示を受けている場合、過去 14 日以内に政府から入国制限または入国後の観察期間を必要とされている国や地域などへの渡航履歴がある場合、もしくは該当者との濃厚接触がある場合、開催を中止あるいは zoom などでリモートにて致します。
- 学術大会の開始前、休憩時、講習後には、ベッド、椅子、机などを消毒しますので、

ご協力をお願いします。

- 使用するベッドの配置には十分な空間を空けるように配置致します。
- 学術大会場は出入口、窓を可能な限り開放して換気を行います。
- 参加者のキャンセルや開催中止は、上記のキャンセルポリシーに従います。
- なお、研修会途中で体調不良者が生じた場合の対応については、直ちに帰宅させます。

研修会開催後 14 日以内に感染が判明した場合、感染が疑われる症状が出た場合は、事務局へ報告するとともに参加者へ周知致します。この際、個人が特定されないように留意します。また、保健所などの聞き取りには協力し、必要な情報提供に努めます。

【本件連絡先】

第 28 回日本徒手理学療法学会学術大会 会場：かわごえクリニック
事務局：埼玉医科大学保健医療学部
理学療法学科 大久保 雄
E-mail yokubo@saitama-med.ac.jp